

2019年がん登録件数

以下のグラフは2019年1月から12月に入院・外来を問わず、当センターで「がん」と診断し治療・経過観察を行った件数です。
(国立がん研究センターによる全国集計が発表されていますが、集計の条件により件数が一致しない場合があります)

次の腫瘍を原発部位*をもとに1腫瘍につき1登録しています。

- ①固形悪性腫瘍(胃がん、乳がんなど)
- ②造血系悪性腫瘍(白血病、悪性リンパ腫など)
- ③上皮内悪性腫瘍(臓器内表面を覆う上皮にとどまるがんで転移がないもの。子宮頸部上皮内がんなど)
- ④脳腫瘍**(悪性・良性・良悪不詳***を含む)

*原発部位で登録します(転移した腫瘍の治療を行った場合、登録は原発部位となります。)

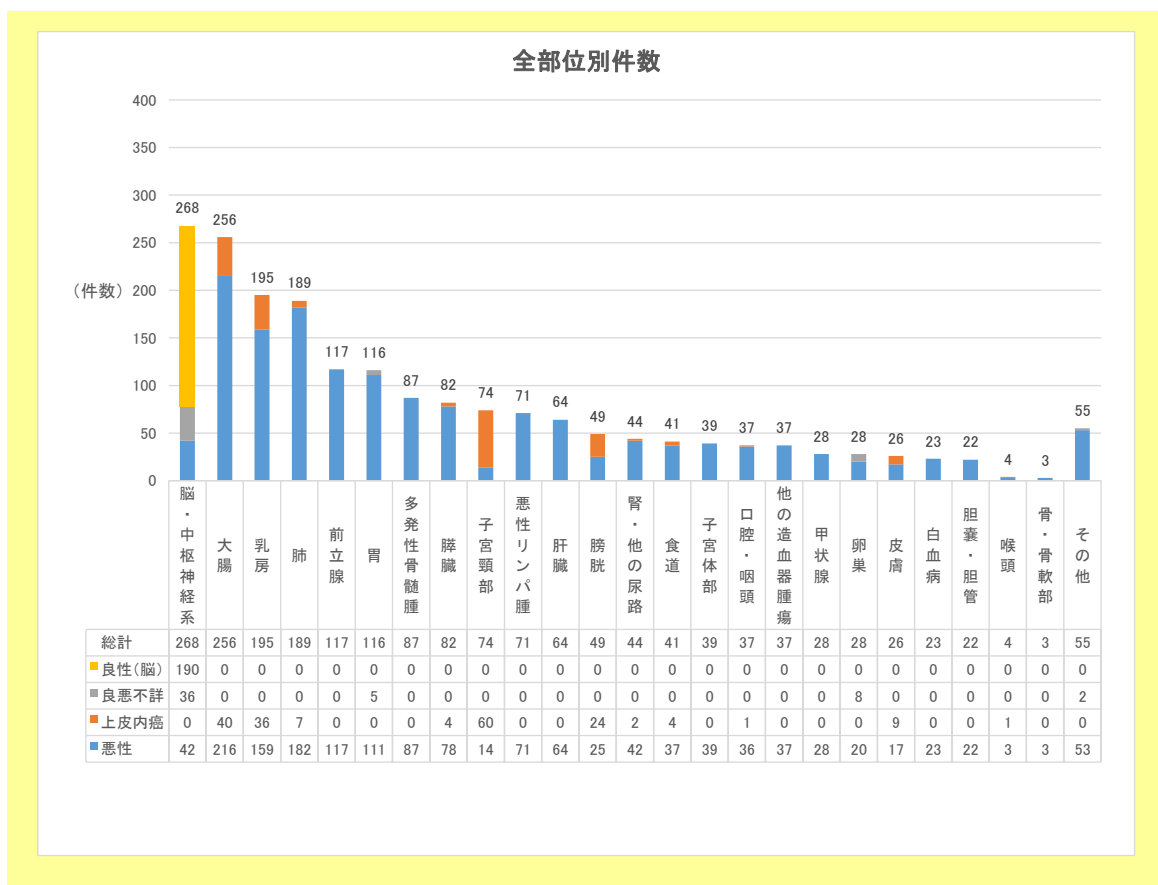
例) 肝臓に転移した大腸がん→部位=大腸で登録

**脳腫瘍は良性・良悪不詳であっても全身に影響を及ぼすことがあるため、登録対象となります。

***良悪不詳とは、国際疾病分類腫瘍学第3.1版に定められた「良性又は悪性の別不詳、境界悪性、低悪性度、悪性の潜在性不詳」を指します。

部位別件数

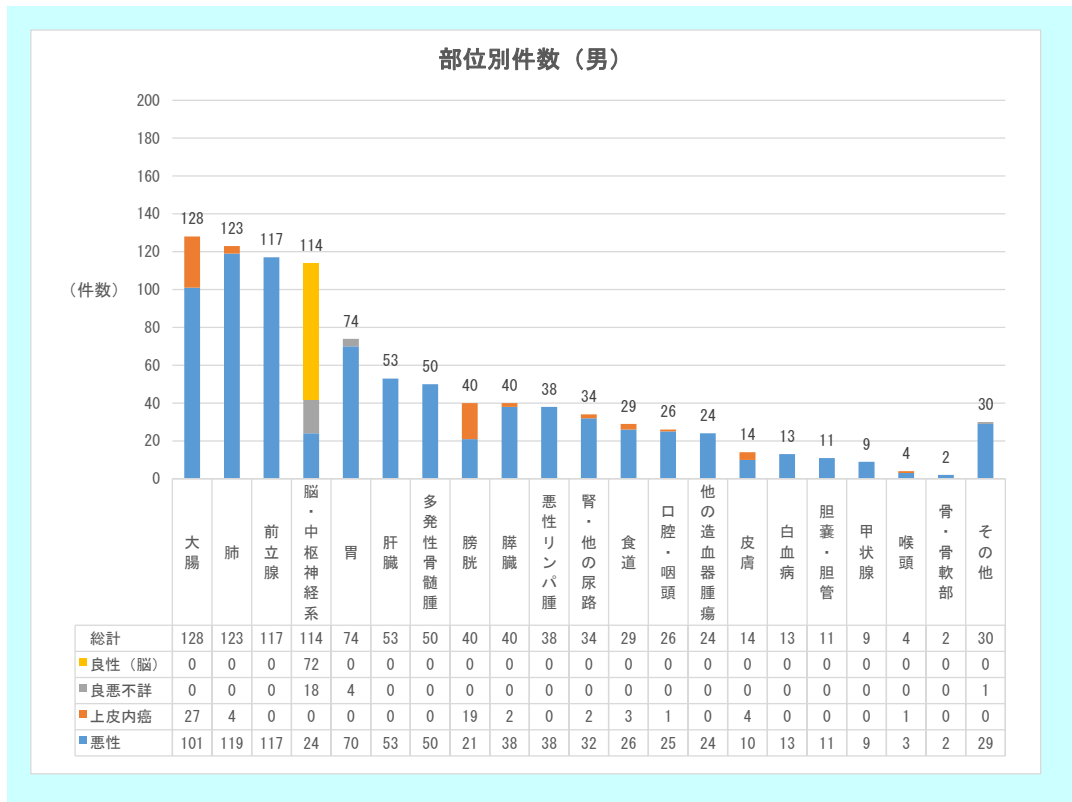
当センターのがん登録件数を部位別に示しています。



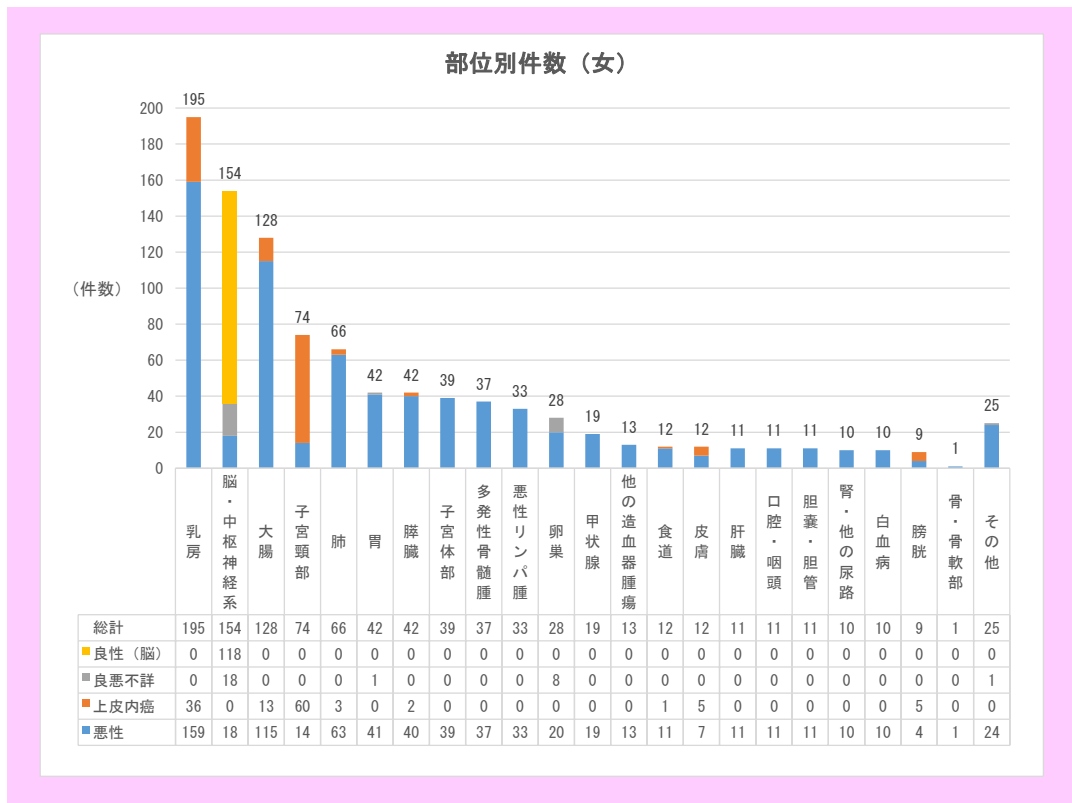
当センターでは日本人に多い5大がん(胃・大腸・肝臓・肺・乳)の登録割合が全体の42%を占めています。
5大がんのうち、大腸がん(直腸・結腸を含む)の登録件数が一番多く、上皮内がんの割合が16%です。
また5大がんをおさえ、脳・中枢神経系の登録件数が一番目に多いことが特徴であり、良性+良悪不詳が84%、悪性が16%となっています。
その他には頭頸部、小腸、希少部位などが含まれています。

部位別・男女別件数

部位別のがん登録件数を男女別に示しています。



男性は5大がんのうち、大腸がん・肺がん・胃がんが上位に入っています。
5大がん以外では前立腺が第3位、当センターの特徴である脳・中枢神経系が第4位と上位です。



女性は乳がんが第1位、子宮頸がんが第4位と女性特有のがんが上位に入っています。
また、当センターの特徴である脳・中枢神経系が第2位と上位です。

上位5部位別・男女別・年齢別件数

男女別登録件数の上位5部位について、年齢別に示しています。

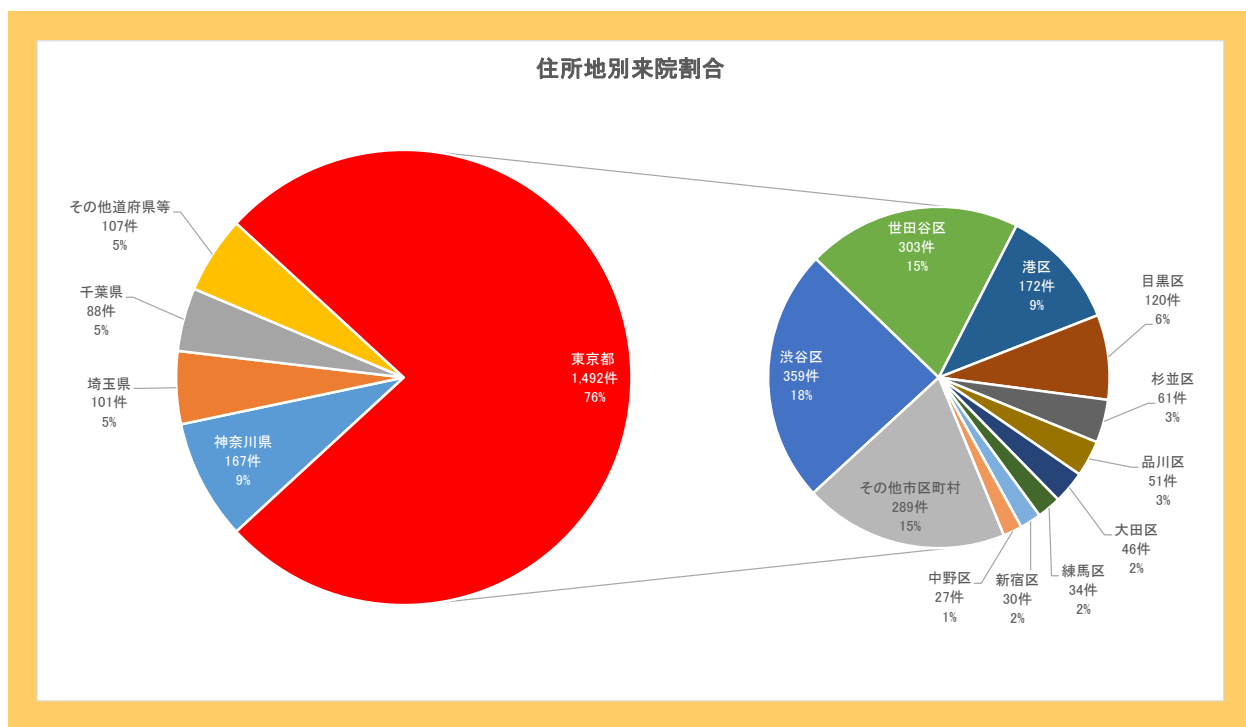


男性は脳・中枢神経系以外では60代～80代に罹患が多い傾向です。

女性は乳がん、脳・中枢神経系の罹患数が40代以降は増加しています。子宮頸がんは30代、40代に多い傾向です。

住所別来院割合

当センターへの住所別来院割合を示しています。



住所別来院割合は東京都が76%を占めます。その他道府県等の内訳は、静岡県11件、茨城県10件、群馬県・長野県8件、青森県7件などとなり、全国から来院される患者さんもいらっしゃいます。東京都のその他市区町村の内訳は、足立区22件、葛飾区21件、江戸川区21件、江東区20件、台東区15件などとなり、東京23区内からの来院が多い傾向です。23区外の市町村からの来院数は約8.4%となっております。